

ITの力と異業種連携で地域やビジネスを盛り上げていく



株式会社OPENER
代表取締役社長

金井 英麿 氏

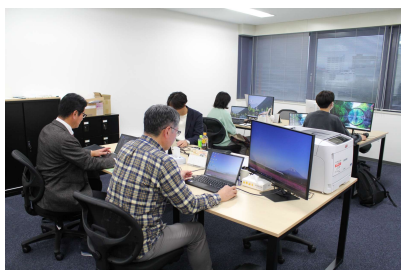
弊社は、メーカー系からエンドユーザー、その間のパートナー企業まで幅広いお客様に対して、要件に適した言語でのシステム開発・運用支援を提供しています。セキュリティ、クラウド、Web構築など領域は多岐にわたり、東北のお客様を東北のメンバーで支える体制づくりと、異業種連携による地域活性化に取り組んでいます。

東北のお客様を仙台拠点のメンバーでサポート

仙台には2024年にレンタルオフィス「CROSSCOOP」内でOPENER東北を開設しました。仙台で採用し、地域に根付かせる方針のもとスモールスタートで始動しました。想定以上の採用ができたことで

「CROSSCOOP」は手狭になったため、作業スペースとして分室も設けました。現在、仙台拠点には6名在籍しています。

これまで東北6県のお客様への開発・サポートは、本社（群馬）で対応してきましたが、地元の技術者が地元のお客様を支えることが理想だという考えから、仙台拠点で東北のお客様をサポートし、事業を大きくしていきたいと考えています。



勾当台公園すぐそば、定禅寺通沿いのビルにある分室で働く社員の皆さん。

地域を知ることが顧客との距離を縮める

仙台に拠点を構えたことで、地域の最新動向やお客様の状況を直接把握できるようになりました。「東北において東北のことを分かっている」技術者と、「群馬において東北のことが分からない」技術者とは、それだけでパ



フォーマンスが全く異なってきます。

さらに、お客様との心理的距離がぐっと縮まる効果も生まれています。お客様に身近に感じていただけること自体が、仙台拠点を設けた大きなメリットです。

仙台・東北の人材はITスキルのレベルが高い

仙台は大学が多く優秀な学生が集まる都市であり、学生のITスキルのレベルが高いと感じています。また「地元で働きたい」というニーズも高く、人材面でのポテンシャルを実感しています。

加えて、企業と行政の距離が近いのも印象的です。仙台市のご担当者とは、助成金の相談を含めて対面で継続的に情報交換をしておりました。立地企業交流会もご招待いただき、異業種の方とのコミュニケーションも取ることができました。仙台市のサポートは手厚いと感じています。

異業種連携でITの可能性はさらに広がる

今後は異業種連携を一層推進したいと考えています。IT企業である当社と他業種を掛け合わせることで新たなビジネス機会を創出し、ビジネスの拡大を図りたいと考えています。また、仙台市が持つ課題や掲げている目標に対してIT企業として連携をすることで、地域全体の活性化にも寄与したいと考えています。この点でも、仙台市からの様々な情報提供を期待しています。ビジネスの発展はもちろん、地域課題の解決にも目を向けていきたいと考えています。

お問い合わせ

仙台市経済局産業集積推進課：TEL 022-214-8276 / E-mail kei008040_13@city.sendai.jp

仙台市経済局首都圏プロモーション担当（東京事務所内）：TEL 03-3262-5765 / E-mail som001310@city.sendai.jp

仙台市企業進出ガイド：http://www.city.sendai.jp/invest/